

# \*\*\*\*\* 1992年指定文化財紹介 \*\*\*\*\*

1992年指定文化財が、中野区文化財保護条例第19条の規定により、中野区文化財保護審議会（会長三隅治雄）で検討し、教育委員会で、下記のように決定しました。

## 指定文化財

### ◎堀野家文書

所蔵者 堀野新治 江原2-24-22

解説 江戸時代の中頃から旧江古田村の名主を勤めていた堀野家の所蔵する文書です。中野地域で最古の検地帳（天正19年）をはじめとして、年貢関係の資料などが揃い、江戸時代から明治にかけての江古田村の様子を体系的に知る上での貴重な資料となっています。

### ◎深野家文書

所蔵者 深野誠一郎 江古田1-20-15

解説 最も古くから旧江古田村の名主を勤めていた深野家に伝わる文書です。徳川家の重臣榊原家への出入り関係文書などが残っており、近郊農村と都市や武家との関係を示す重要な資料として、これまで数多くの歴史学者の研究に利用されてきました。

### ◎沼袋氷川神社所蔵絵馬37点

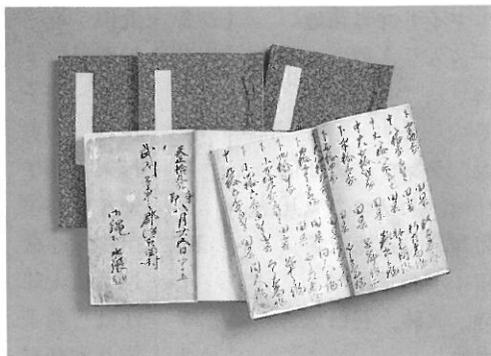
所蔵者 氷川神社（沼袋） 沼袋1-31-4

解説 明和元年(1764)から昭和6年までの間に氷川神社に奉納された絵馬で、一か所にまとまった絵馬としては区内で最も数の多いものです。菜種油の製作過程を描いた産業図や武者絵、参詣図など画題や形態も様々で、絵馬研究の資料として重要です。

### ◎多田神社所蔵大絵馬3点

所蔵者 多田神社 南台3-43-1

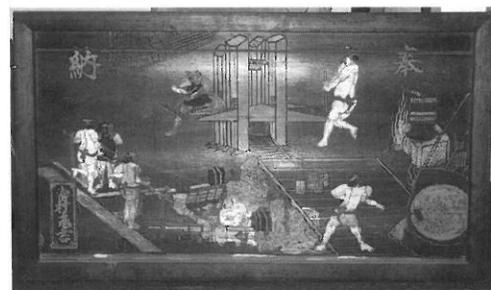
解説 区内最大の大絵馬である『壇ノ浦合戦図』、大絵馬に特徴的な画題の『富士の巻狩図』（共に年代不詳）、大正13年に奉納された『十番組まといの図』の3点があります。大絵馬は区内に僅かしか残っていないため、これらは大変に貴重です。  
(敬称略)



▲堀野家文書(江古田村検地帳)



▲深野家文書  
(作法替に付下掃除相続様願)



▲氷川神社絵馬(産業図)



▲多田神社絵馬(「富士の巻狩図」)